

モラル・ハラスメントを許すな！⑭ 法の“すれすれ(on the edge)”を 駆け抜けたホリエモン

「何が悪いというんですか」

(広報担当)

「ルールは守ってやっている」

(M&A担当)

報道された幹部2名の言葉が、全てを物語っているような気がした。法律の“虚”について儲ける新タイプの「虚業」が今や大流行のように思える。ネットで不労所得を夢見る個人を誘う商材の中にも、「法律すれすれ」のような表現を散見することがある。知っている者勝ち一現代は、頭をそういうことに使うようになってしまった。

テレビで、「振り込め詐欺」の若者グループが、「俺たちは能力がある。凡人とは違う」と言って自分たちのやっている行為を肯定していたのを思い出す。思いやりを伴わない能力主義、成果主義は、「力を持つ者は行使してよい」「能力ある者はすべてを得てよい」という考えを肯定し、あまつさえ、「騙される方が悪い」「いじめられる方にも問題がある」という考えさえも容認するようになった。

国が「自己責任」で「自由競争」で生きろというアングロサクソン型資本主義に傾倒したことも、その流れを推し進めた。臆面もなく痴呆老人を食物にするリフォーム業者など、その典型である。

高いモラルの中で生きていけば、犯罪は遠く離れた世界のように思える。が、低いモラルの中で日常を過ごしていると、犯罪までの距離はとて近くなる。やがて、

一歩踏み越えれば犯罪のすれすれのところで生きるようになると、いつの間にその一線を越えたのか分からないこともある。

冒頭の幹部2名は、いつの間に犯罪の一線を越えてしまっていたのか本当に分からなかったのかもしれない。

私は『1987年からマネー(経)がモラルを失った』と他の記事でも書いた。10年後の97年、『殺人まで起きた山一事件、自殺者まで出した野村・第一勧銀の総会屋事件など戦後の日本を率いてきた大企業の不祥事が噴出し、「企業犯罪」が問われた』。

この時、日本の背骨(モラル=社会規範)がついにポッキリと折れたのだった。その折れた背骨に変わるように出てきたのが、いわゆるIT関連の新興企業群と言ってもいいかもしれない。

97年に登場したオン・ザ・エッジ。「政」からビジョンが失われて20年、「経」からモラルが失われて10年の社会に育っていた若き社長は、『金を持っているやつが偉い』と堂々と標榜した。アノミー(無規範)化した日本社会から「モラル」(父性)と「愛情」(母性)が失われ、残った唯一の時代の価値基準がマネーしかないことを感じ取っていたのかもしれない。

98年に閣議決定された「規制緩和」の施策は、その社長堀江貴文氏にとっては渡りに船であった。法規制が緩んでいく中、法律“すれすれ(on the edge)”の中を突き進み、「勝ち組」の一つの頂点に上り詰めた。



同様に、規制緩和の中で急成長したのが耐震偽装事件の総研でありヒューザーである。その勝ち組のはずだった堀江氏もヒューザーの小嶋氏も、時を同じくして社会からの追及を受けた。

私は、『1987年から、国民の行動パターンが変わる前の年1997年までを個人的に「失われた10年」と定義している』。しかし、単純に失われただけの時代だとは思っていない。人間はタテに成長する時とヨコに成長する時が交互にくる。タテに成長できなかった10年の間、人々はヨコに模索しはじめた。

その流れは、大きく2つに分かれた。時代の流れを利用して上を目指す堀江氏のようなグループと、時代の流れにそむき自分の世界を追求する「オタク」のグループだ。状況密着的に流されている「スーフリ事件」「振り込め詐欺」などのグループは時代のあだ花であろう。

「オタク」は、父親が会社に引きこもり、社会から大人のモデルが失われていく中に登場する。そのオタクという言葉は社会に認知させたのが、88~89年の連続幼女誘拐殺人犯、宮崎勤だった。マイナスのイメージでの登場だったが、モラトリアムや引きこもりなどの様々な症状を生み出しながらも、その数は増えていく。そして、

パビリオン [グループ定期購読]

お友達・ご近所様、企業様へも、一緒にまとめてお届け！みんなでパビリオンを読もう！

●下記、必要事項を別紙にご記入(またはE-mail)、チェック添付の上、下記宛先までお送り下さい。チェック受取り後、弊社よりE-mail(またはTEL)にてご連絡させていただきます。
※E-mail(またはTEL)ご連絡先を必ずお知らせ下さい！

■必要事項■

<選択> 20冊/12ヶ月購読希望(\$350) 40冊/12ヶ月購読希望(\$600)
<必須> Name(Company Name): / Address: / Zip: / TEL: / E-mail:
※お届け先は一ヶ所のみ、チェックお支払いもお一人様(代表者)のみでお願い致します。

●月一回発行(毎月月末)※米国内のみの発送 ※小部数または40人以上の
毎月20冊(計240冊)=\$350(お一人・年間\$17.50) 大部数でも対応可能です。
毎月40冊(計480冊)=\$600(お一人・年間\$15) 別途、お問い合わせください。

To: Pavilion Graphics Inc. E-mail: pavilion@johoya-usa.com
1699 Wall St. Suite 210, Mt. Prospect, IL 60056

■著者紹介■

中尾英司
(家族相談士・シニア産業カウンセラー)



電話相談、メールカウンセリング、及び月2回ほど全国各地のご家庭を訪問してご家族の問題解決に当たっている家族カウンセラー。子育ての問題全般、ADHD、不登校、窃盗癖、ギャンブル依存、統合失調症、DV、離婚、会社のセクハラ・パワハラ対応、会社との共依存、転職の問題などを手がけている。講演依頼.COMの講師として、組織改革や子育ての心理についての講演やセミナーも行う。

著作:「あきらめの壁をぶち破った人々」(日本経済新聞社 03/11)

「あなたの子どもを加害者にしないために」(生活情報センター 05/08)

サイト:「中尾相談室」,「組織改革ご支援.COM」

ブログ:「あなたの子どもを加害者にしないために」

メール:sodan@jiritusien.com



(写真:共同通信社/
ライブドア前社長の堀江貴文被告)

「秋葉系」や「電車男」などメジャーとなつて社会に認知されていった。

この大きな2つの流れが目に見え始めた時に、マスコミは分かりやすく「勝ち組vs負け組」「上流vs下流」というレッテルを貼った。勝ち組のヒーローがいわゆる「ヒルズ族」、負け組のヒーローが「電車男」なのである。結果は、勝ち負けという安易な言葉が意味のないものであることを示した。

そして、それらマスコミ受けするわかりやすい若者の行動の影に隠れて、巨大な伏流が育っていることを感じる。それがネット上のコミュニティだ。試行錯誤の中で、人々はヨコにつながり始めたのである。それは、これまでの工業化社会を推し進めてきた根本原理である「分業」と「競争」に変わって、「協働」と「共生」の原理が芽生える土壌が出来始めたことを意味している。

ホリエモンも小嶋氏も時代に乗ったと言われていた。しかし、死刑が確定した宮崎勤も含めて、「モラル」(父性)と「愛情」(母性)が失われた時代の犠牲者なのかもしれない。

(中尾英司)

◆秋葉系

秋葉原(東京都)に象徴される文化、ならびに秋葉原に集う人々のうち、いわゆるオタクあるいはマニアの中でも秋葉原を中心として流行したアニメ、ゲーム、コスプレ、同人漫画、フィギュアを趣味とし熱中する人々。広くはさらに鉄道、秋葉族と総称される人々の好む電子工作や無線あるいは必要以上の性能を求めたPCの自作などを含め非生産的な傾向があるとされるサブカルチャーを趣味とし熱中する人々。

尚、類語「オタク」が80年代後半に登場(宮崎勤の東京・埼玉連続幼女誘拐殺害事件は88年に発生)、この「秋葉系(アキバ系)」は2000年初頭に発生、流行語となった。

◆電車男

2ちゃんねるの独身男性板(通称:毒男板)のスレッドで投稿された一見何気ない書き込みが発端となった物語。「電車の中で酔っ払いに絡まれた女性を助けてお礼を言われた」と書き、さらに数日してから、助けたお礼にエルメスのティーカップが届けられたという書き込みをしたため、俄然スレッドは盛り上がり、電車男を応援するスレッドが派生した。男性は当初発言番号731を名乗っていたが、スレッド参加者は彼を「電車男」、相手の女性を「エルメス」と呼ぶようになり、彼も後に「電車男」を固定ハンドルにして書き込むようになった。

彼は、「彼女いない歴=年齢」のアキバ系オタクを自認し、それまでデートもしたことがないため、お礼の電話はどうするか、どうやって誘ったらいいか、どんな服装をしたらよいか、などとスレッドに次々相談を書き込んだ。他の参加者(スレ住人)から様々なアドバイスが寄せられ、その甲斐あって「電車男」もデートを実現、ファッションにも気を配り、オタクグッズを処分して次第にもてない男から成長し「エルメス」との交際を進めていった。

スレ住人たちは約2か月の間「電車男」を応援し、その報告を待ちわび、2人がどうなるかと固唾を飲んで見守っていた。「電車男」から「好きだと告白してうまくいった」旨の書き込みがあり、掲示板には多くの祝福のメッセージが

寄せられた。なお、「電車男」の書き込みはしばらく続き、性交渉寸前の状況まで書き込みがあった為、独身男性板にふさわしくないと住人の非難を浴びた。「電車男」はその日深夜の書き込みを最後に独身男性板から姿を消した。

その後も書籍化(ドラマCD化まで)、映画化などで話題を呼び、著作権についても様々な議論があったが、最終的には2ch運営者である西村氏、および電車男投稿者本人からの承諾も得て、新潮社より出版は断行された。



◆ヒルズ族

ヒルズ長者ともいう。狭義では東京・港区の六本木ヒルズ内のマンションに入居している若いIT関連企業のオーナーや経営者、ベンチャー起業家といった「勝ち組」の人間を指す。六本木ヒルズにオフィスを構えていたり、そこで働いている人も含める広義でも用いられている。(代表格はライブドア前社長・堀江貴文や、楽天社長兼会長・三木谷浩史など。)

六本木ヒルズを囲む赤坂、青山、麻布は、その頭文字をとって「3Aエリア」とよばれるようになっていく。この地域での高額賃貸マンションは、月額賃料30万円以上または専有面積30坪以上と定義されている。3Aエリア内に高額賃貸マンションは1万戸程度あり、うち1割程度が月額賃料100万円以上。こうした超高級賃貸マンションで暮らし、六本木ヒルズのオフィスで働いているのが、IT企業やベンチャー起業の若手経営者たちだ。

バブル時代のベンチャー企業の成功者たちは「ヤング」(ヤングエグゼクティブ)とよばれていたが、それよりも一回り大きな存在となっており、彼らを結婚相手としてねらう女子アナや女性タレントも増えているようだ。

(参考・引用: ウィキペディア フリー百科事典、Yahoo!辞書)



アメリカで家を買う・売る・投資する!

初めてのマイホーム・マイコンド、雇用ビザでの不動産購入・投資その他あらゆる不動産売買に関する基礎知識・ご相談、情報提供をさせて頂いております。信頼あるリマックスで、経験と知識豊富な、私達エージェントに是非お任せください。(ジェリー)



RE/MAX MARKET

不動産エージェント/ Jerry Grodesky

TEL: (847)-640-9676 (Pavilion日本語サービス)

物件リスト: www.searchhomemarket.com